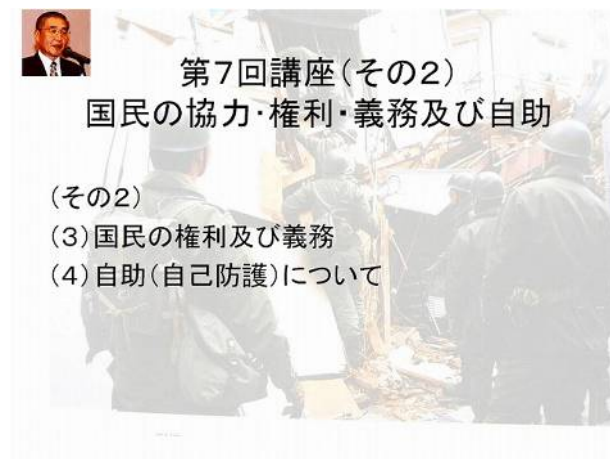
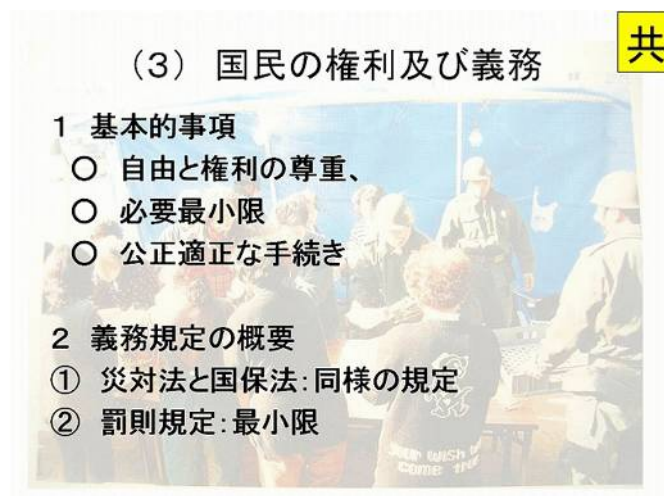


第7回 国民の協力、権利・義務及び自助 その2

その2において説明する項目はスライドの通りです。



国民の権利及び義務に関する基本的事項をお示ししております。武力攻撃等事態と自然災害の場合は概ね同等の義務規定であり、罰則も必要最小限に設定されています。



義務規定の概要です。知事が絶大な権限を保有しています。

義務規定の概要

共

| 義務規定 | 知事 | 市町 村民 等 | 英対 | 罰保 |
|--------------------|----|--|--|--|
| 応急公用負担(土地、建物、工作物) | ○ | ○ | 64条 | 118条 |
| 物資の保管・取用等(医薬品、食料等) | ○ | | 71条 | 81条 |
| 土地等の使用(検査施設、医療施設) | ○ | | 71条 | 82条 |
| 医療業務従事 | ○ | | 71条 | 82条 |
| 原子炉・危険物資等の危険除去 | | 100条 101条 102条 103条 104条 105条 106条 107条 108条 109条 | 100条 101条 102条 103条 104条 105条 106条 107条 108条 109条 | 100条 101条 102条 103条 104条 105条 106条 107条 108条 109条 |

代表的な罰則規定を示しています。災害対処のケースの方がやや軽めに設定されているようですね。

代表的な罰則規定

共

| 武力攻撃等 事態 | 違反態様 | 災害等 |
|-------------|------------|---------|
| 6月、30万円 | 特定物資の保管 | |
| | 従事命令、保管命令等 | 6月、30万円 |
| 3月、30万円 | 交通規制 | 3月、20万円 |
| 30万円 | 警戒区域等退去 | 10万円 |
| 無 | 土地等の使用 | 無 |

備考：月は懲役期間、金額は罰金で何れも上限

自助、即ち自らの命は自らが守るという理念を達成するためには、準備すべき事項、平素から心掛けておくべき事項等が多々あります。武力攻撃等事態や災害時においてどのようなことをする必要があるのかについて自己等防護として纏めました。

(4) 自助の為に何を！

共

- ① 被害の極限と安全確保のための措置及び行動（自己や家族防護等）
自己防護能力の向上
- ② 事前準備事項
非常持ち出しや備蓄
- ③ 事態発生時の対応のための事前準備
避難要領や安否確認の要領等

「一日前プロジェクト」って知っていますか？

（「明日大災害があるとすれば、今日 何をするか」を被害者に聞き取り）

自己等防護 (I)

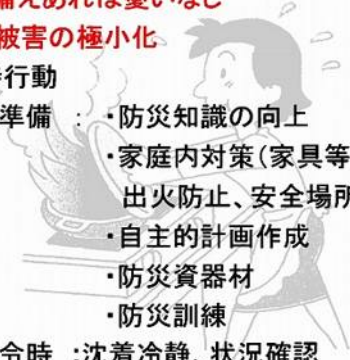
共

1 意義: 備えあれば憂いなし

被害の極小化

2 非常時行動

- ・ 事前の準備 :
 - ・ 防災知識の向上
 - ・ 家庭内対策(家具等の転倒防止、出火防止、安全場所確保)
 - ・ 自主的計画作成
 - ・ 防災資器材
 - ・ 防災訓練
- ・ 警報発令時 : 沈着冷静、状況確認
- ・ 災害発生後 : 自助、共助、報告



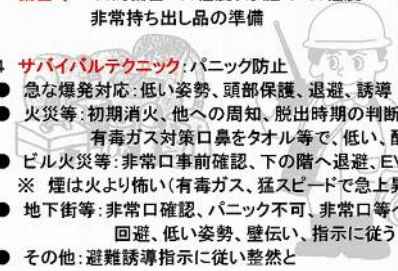
自己等防護 (II)

共

- 3 備蓄等 : 公的備蓄2日程度、家庭で1日程度
非常持ち出し品の準備

4 サバイバルテクニック: パニック防止

- 急な爆発対応: 低い姿勢、頭部保護、退避、誘導
- 火災等: 初期消火、他への周知、脱出時期の判断
有毒ガス対策(口鼻をタオル等で、低い、酸欠防止)
- ビル火災等: 非常口事前確認、下の階へ退避、EV不可
※ 煙は火より怖い(有毒ガス、猛スピードで急上昇)
- 地下街等: 非常口確認、パニック不可、非常口等への殺到
回避、低い姿勢、壁伝い、指示に従う
- その他: 避難誘導指示に従い整然と



自己等防護 (III)

共

4 サバイバルテクニック (続)

- 瓦礫内閉じ込め等
鼻口覆う。大声は最後の手段、配管等叩いて位置通知
体力温存
- 飲料水異変
五感によるチェック、止むを得ざる場合: 動物や昆虫でチェック
- 空気異変
嗅覚や呼吸器の感覚、臭い、
頭痛、異臭、目眩、吐き気、虚脱感、痺れ、くしゃみ等々



自己等防護 (IV)

共

4 サバイバルテクニック (続)

- 救急の原則: ショックの防止、気道の確保、止血
- 武力攻撃等: 目標域から離隔、避難、
止むを得ない場合屋内避難(中央部)
- 弾道ミサイル等
屋内避難の場合(中央部、エアコン等停止、目張り等)
屋内退避不能時: 建物等の陰に
- NBC: 風上or屋内避難、除染、
飲食回避、専門機関の診断

原理原則の理解・確行・応用を!

次回は、共助及び協働について説明します。